

1. 本県周辺海域の概況(図1, 6/8現在)

- ・黒潮の流型は、C型で推移しています。黒潮の本流は、犬吠埼にやや接岸した状態で本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 00' 東経143° 30' 付近(八戸沖)にあります。親潮の面積は平年よりかなり小さめとなっています。また、東北海域の海面水温は平年並み～やや低めで推移しています(気象庁5/29発表)。
- ・茨城県海域では、引き続き黒潮からの暖水波及がみられています。

2. 海洋観測結果(6/1～2, 4～5:調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差)を図14～15に、鉛直水温図(平年偏差)を図16～17に示しました。
- ・海面水温は、会瀬沖で17.5℃～19.6℃, 大洗沖で16.7～23.2℃, 鹿島沖で17.6～23.6℃, 犬吠埼沖で20.7℃～23.7℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層では全域で昇温しました。50m以深では、沖合域では昇温傾向でしたが、沿岸域では会瀬・大洗の一部を除いて概ね前月と同じか、やや降温しました(②)。
- ・平年と比べると、大洗～鹿島定線141°～141.5°付近で低め傾向であったほかは、概ね全層・全域で平年並み～高めでした(③)。
- ・潮流の特徴として、大洗～犬吠埼定線の沖合域で黒潮が観測されました。また、沿岸域では、逆潮(南向き)～込潮(西向き)傾向の潮流が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮は今後流路が変動し、1か月後にはN型に移行するとみられます。
- ・親潮の面積は平年よりかなり小さめで推移する見通しです。親潮第一分枝の先端は北緯41° 30' 東経143° 00' (尻屋崎沖)に後退するとみられ、親潮系冷水は本県沖に直接影響しないとみられます。
- ・水温を平年と比べると、表層では引き続き暖水の影響がみられ「平年並み～やや高め」、100m深では「平年並み」で推移するでしょう。

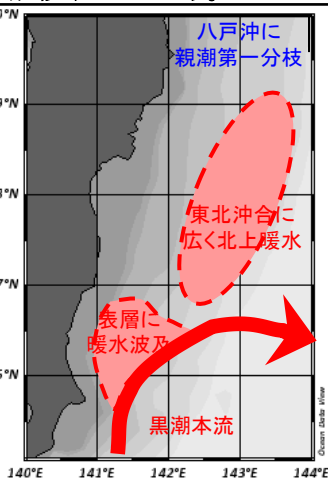


図1 海況の概要
(6月8日現在)

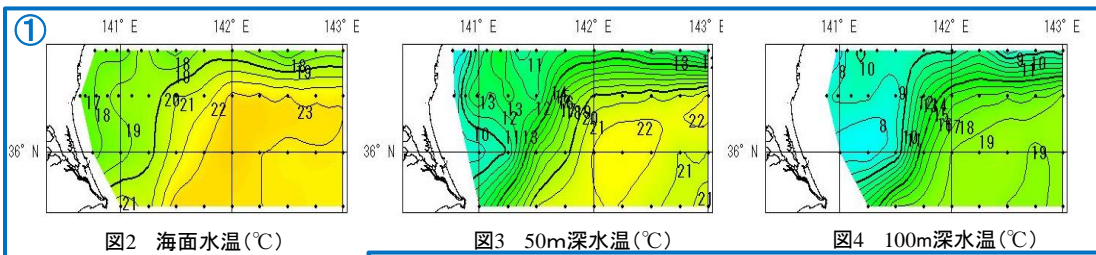


図2 海面水温(°C)

図3 50m深水温(°C)

図4 100m深水温(°C)

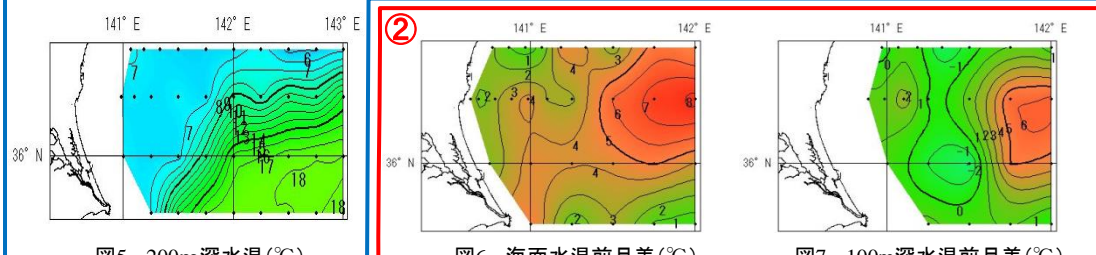


図5 200m深水温(°C)

図6 海面水温前月差(°C)

図7 100m深水温前月差(°C)

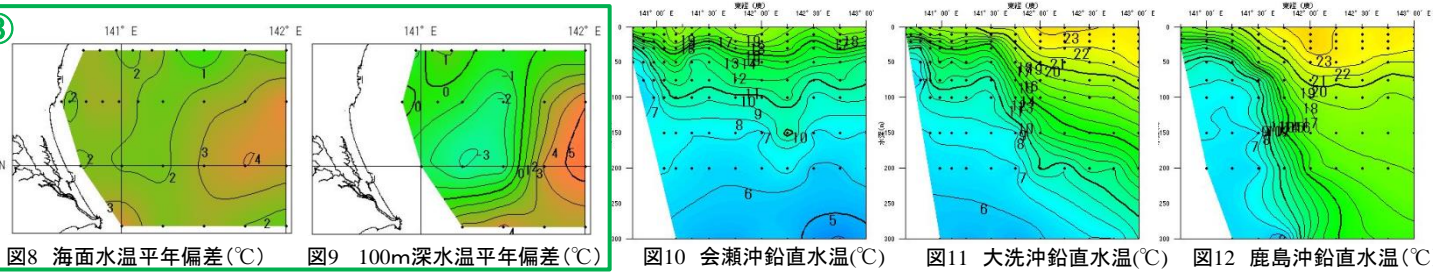


図8 海面水温平年偏差(°C)

図9 100m深水温平年偏差(°C)

図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

図11 大洗沖鉛直水温(°C)

図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

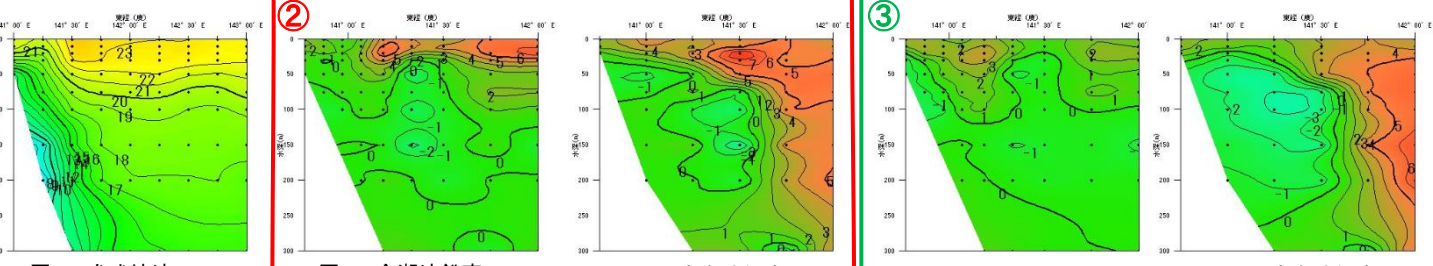


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

図16 会瀬沖鉛直水温平年偏差(°C)

図17 鹿島沖鉛直水温平年偏差(°C)